

いわみざわ市の教育

特集

岩見沢緑陵高等学校入学希望者募集!

主な内容 楽しいキッズスポーツ教室を開催しています!

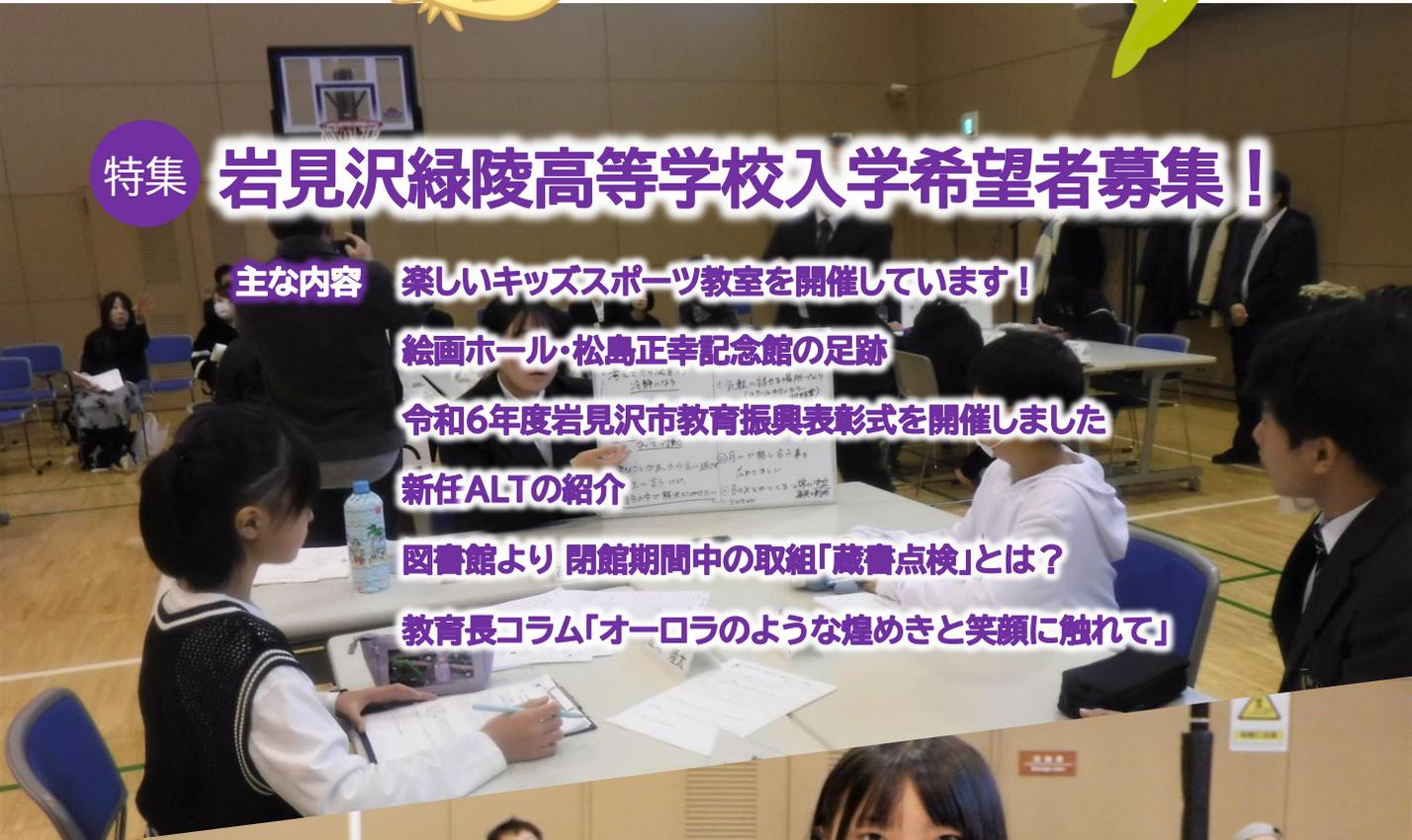
絵画ホール・松島正幸記念館の足跡

令和6年度岩見沢市教育振興表彰式を開催しました

新任ALTの紹介

図書館より 閉館期間中の取組「蔵書点検」とは?

教育長コラム「オーロラのような煌めきと笑顔に触れて」



【写真の紹介】

11月9日(土)に市内小中学校及び岩見沢緑陵高等学校の児童生徒が教育研究所に集まり「岩見沢市仲間づくり『子ども会議』」を実施しました。各校でのいじめ根絶の取組を共有したほか、いじめを許さない雰囲気づくりやSOS発信できるための具体的な取組について議論しました。

岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報を発信していますので、ぜひ「いいね!」してください!

<https://www.facebook.com/edu.iwamizawa>



北海道 岩見沢緑陵高等学校 Hokkaido Iwamizawa Ryokuryo High School



来いの? 来なの?

緑陵高校は、対面の授業・友人関係・部活動といった「様々な価値観を持った人たちと協調して、体験を通じて学ぶ」ことを大事にしています。

また、変化の激しい現代社会で活躍できる人材を育成するため、主体性と協働力を育む探究学習を常にアップデートしています。

さらに、高等学校DX加速化推進事業を活用し、道内屈指のハイスペックな情報機器設備を備え、最先端の3DCGやアニメーションの制作、著名なイラストレーターやアニメーターを外部講師で招いた授業の実施など、実践的な学習も行っています。



令和7年度入学希望者募集中!

学科	学級数	定員
普通科	4学級	160名
情報コミュニケーション科	2学級	80名
計	6学級	240名

岩見沢緑陵高等学校ホームページ
はこちらからご確認できます!



幅広い学びのニーズにこたえる学科、多様なコースを設置
生徒の個性を尊重し、能力を伸ばしていく学習指導
進路実現に向け全力サポート

部活動も充実しています!

体育系

- ソフトテニス部
- バスケットボール部
- 野球部
- 女子ソフトボール部
- バドミントン部
- バレーボール部
- テニス部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 剣道部
- 卓球部

文化系・外局

- 吹奏楽部
- 簿記部
- ボランティア部
- 美術部
- 写真部
- パソコン部
- 書道部
- 茶道部
- 科学同好会
- 放送局



卒業生の進路(令和5年度内定者数)

進路先	延べ人数
国公立大学	8
私立大学	123
短大・専門学校	86
公務員	14
民間企業	11

【問合せ先】緑陵高校 ☎ 0126-22-1851

楽しい

キッズスポーツ教室を 開催しています！

対象
小学1～3年生

この教室は、身体能力や運動神経が著しく発達する小学校低学年（プレ・ゴールデンエイジ）の子どもたちが、運動の楽しさを感じながら様々な種目のスポーツを体験することができ、生涯にわたってスポーツに取り組む資質や能力を育成することを目的として実施しています。

今年度は各学校から135名の参加申込をいただき、毎回多くの子どもたちが楽しく身体を動かしています！

キンボール



体ほどの大きさのボールを、チームで落とさないよう支えたり、ヒットしたり、転がしたり…みんなで協力しながら夢中になって楽しめます！

ダンス



5月には、総勢90名の子どもたちが曲「Bling-Bang-Bang-Born」に合わせて、リズム良く身体を動かしていました！

バルシューレ



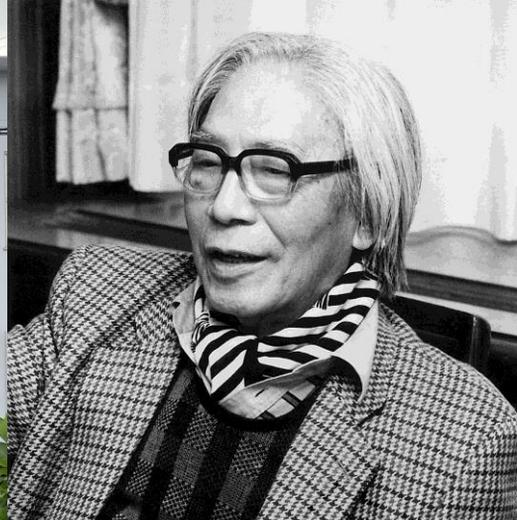
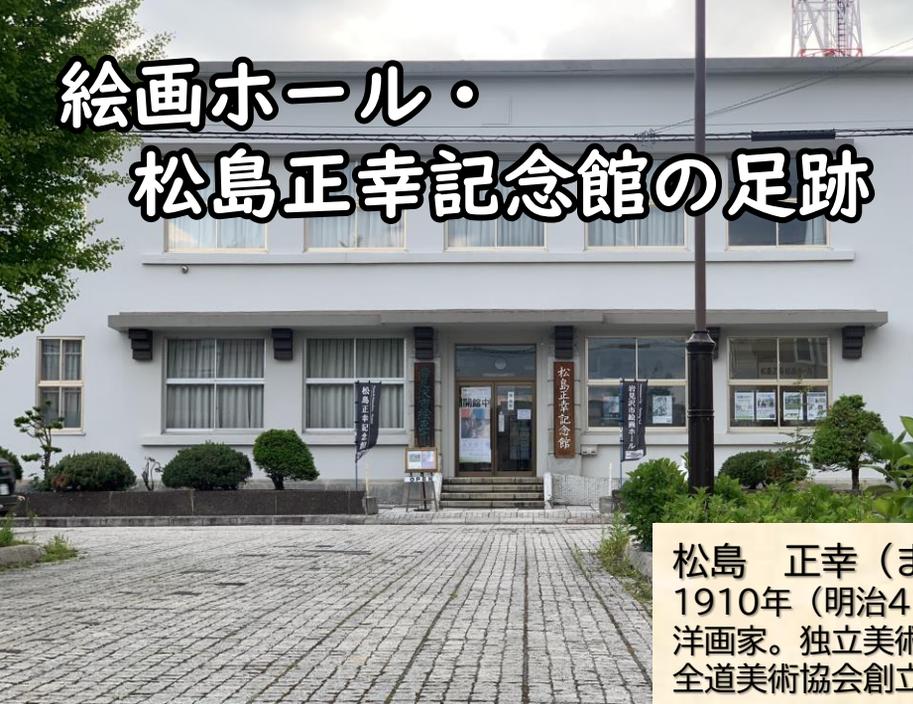
1998年にドイツで創設された、子どものためのボール運動教室です。多種類のゲームを通じて、投げる・蹴る・跳ぶなど様々な体の動きを経験出来ます。

各回土曜日の午前中に、令和6年度は全10回の開催を予定しています。

参加してくれた子どもたちが運動に興味を持ち、その後も意欲的にスポーツに取り組めるような環境を目指して、これからも教室を継続していきます。

【問合せ先】文化・スポーツ振興課スポーツ振興係
☎ 0126-35-5129

絵画ホール・ 松島正幸記念館の足跡



松島 正幸（まつしま・まさゆき）
1910年（明治43年）北海道雨竜郡一己村生まれ。
洋画家。独立美術協会会員。
全道美術協会創立に貢献。1999年（平成11年）没。

岩見沢市絵画ホールは、旧岩見沢警察署庁舎を歴史的文化遺産として保存するとともに、岩見沢市ゆかりの美術作家の作品並びに松島正幸画伯の絵画を収蔵展示する新たな文化施設として整備し、平成2年8月26日開館しました。



旧岩見沢警察署庁舎



岩見沢のあやめ公園



夕張岳の見える岩見沢

松島正幸画伯は、北海道教育大学岩見沢分校で昭和40年より8年間にわたり講師を務められ、昭和61年には本市で開催した北海道21世紀博覧会の折、発行された岩見沢の絵はがき「あやめ公園」を描かれました。

その後、松島画伯から青少年の健全育成にと平成元年に絵画50点の寄贈を受けたのを機に、市民会館別館郷土資料室内に展示をしていましたが、平成2年さらに絵画55点の寄贈があったことから岩見沢市絵画ホール内に「松島正幸記念館」を新設しました。

以降、平成12年までに絵画128点の寄贈を受け、現在、絵画総数233点の収蔵展示を行っています。

【令和6年度 イベントカレンダー】

- ◆1～3月：松島正幸の世界「巴里を旅する」
- ◆12月3日～1月12日：水野剛志展
- ◆1月18日～2月9日：
岩見沢市教育美術展
～未来の芸術家のたまごたち～
- ◆2月13日～3月20日：岩見沢市在住作家展
- ◆コンサート

【問合せ先】

文化・スポーツ振興課文化振興係
☎ 0126-35-5130(文化振興係)
☎ 0126-23-8700(絵画ホール)

令和6年度

岩見沢市教育振興表彰式

を開催しました



令和6年11月5日(火)午前11時より、平安閣にて岩見沢市教育振興表彰式が執り行われ、受章者のお二方には表彰状と記念品が教育長より贈呈されました。

また、市長よりお祝いの言葉があり、受章者を代表して、広瀬 輝昭様が謝辞を述べられました。

受章者の確認はこちら！

市教委ホームページに教育振興表彰を掲載していますので、ぜひご覧ください！



https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/soshiki/gakkokyoikuka/kyoiku_iinkai/4/3/2/index.html

岩見沢市教育振興表彰とは？

岩見沢市の教育振興のため、特に功績のあった市民または市民であった方に対して、その功労を表彰するものです。

個人が成したことだけではなく、教育に携わる団体に所属し、その団体の育成・発展に貢献されたことなども表彰の対象となります。

教育関係各種団体、学校等が候補者を推薦し、選考を経て決定します。

今年は、以下の方々が受章されました。

受章者のご紹介



ひろせ てるあき
広瀬 輝昭 氏



岩見沢テニス協会の会長として、永年にわたり組織の運営・発展に寄与されました。

また、市内テニスチームの指導普及や組織の充実発展など、市内における青少年のテニスの技術向上および振興に大いに尽力されました。



まえかわ まこと
前川 信 氏



岩見沢テニス協会の役員として、永年にわたり組織の運営・発展に寄与されました。

また、岩見沢市スポーツ協会の役員として組織の運営・発展に寄与されるなど、市内スポーツ活動の振興に大いに尽力されました。

【問合せ先】学校教育課総務係 ☎ 0126-35-5121



新任ALTの紹介

岩見沢市では、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成や異文化への理解を図ることを目的に、小中学校と緑陵高等学校に外国語指導助手(ALT)を配置しています。ALTは、学校で外国語の授業における補助を行うほか、教育委員会主催の「土曜キッズ英会話」で講師を担当するなど広く活躍しています。

今年は新たに6名のALTが就任しました！

レッティグ ジュニア ジェイムズ シー

Rettig Jr James C

出身:アメリカ 

配置校:幌向小、豊中、北村小、北村中

岩見沢で楽しみにしていること:
「スキーに行ったり、思いがけない場所で新しい友達を作ることが楽しみです！」



スティーブンズ アーリン セオ

Stevens Arin Theo

出身:アメリカ 

配置校:中央小、美園小

岩見沢で楽しみにしていること:
「ウインタースポーツや北海道の郷土料理が楽しみです！特に旬のものや景色が楽しみです！」



アレン シャーントイ デジュネー

Allen Seantoi Djeané

出身:ジャマイカ 

配置校:東小、北真小、緑中

岩見沢で楽しみにしていること:
「スキーシーズンを楽しみにしています。スノーボードとスキー、柔道を習うのも楽しみです！」

エラナ セス ゴルドン ハール
Ellanna Seth Gordon Hale

出身:アメリカ 

配置校:第二小、上幌向中、栗沢小、栗沢中

岩見沢で楽しみにしていること:
「ボーリング場でボーリングをしたり、市内すべてのレストランで食事をするのが楽しみです！」



メーサン タミカ ロネー
Mason Tamika Ronae

出身:トリニダード・トバゴ 

配置校:緑陵高

岩見沢で楽しみにしていること:
「私は雪の無いカリブ海の小さな島出身なので、萩の山スキー場やドカ雪まつりなど冬のアクティビティを一番楽しみにしています。また、おでんなどの伝統的な食べ物を食べることも楽しみです！」



ハミルトン エミリー マリー
Hamilton Emily Marie

出身:アメリカ 

配置校:光陵中

岩見沢で楽しみにしていること:
「日本語を上達させ、生徒たちと一緒に活動することを楽しみにしています。たくさんの方のことを学びたいです！」



【問合せ先】指導室 ☎ 0126-35-5127



閉館期間中の取組

「蔵書点検」とは？



図書館では特別図書整理期間(蔵書点検)として、年に一度10日ほど休館になるときがあります。

この「蔵書点検」という言葉はかた～い感じで、何をしているか知らない方もいらっしゃると思いますので、今回はどのようなことをしているのかをお話していきますね。

いつもご利用いただいている皆さんにはご不便をおかけしますが、この期間に通常営業のなかではできない大事な仕事をしています。

その仕事とは、本の棚卸(たなおろし)です。

職員全員で蔵書数約33万冊の本を一冊ずつハンディターミナルという機械で、バーコードを読み込んでいきます。体力勝負で時間のかかる作業です。重い美術全集は腕の筋肉養成に、閉架書庫は通路が狭く5人も入るといっばいの中、身体をねじりよじりながら体幹が鍛えられていると信じ、一生懸命作業しています。

読み込んだデータは、図書館の所蔵データと照合します。

そうすると行方不明の本リストができ、本棚の奥に入ってしまったたり、本のなかに挟み込まれてしまったもの等を一冊一冊探し出します。他にも間違った場所にある本を正しいところに戻し、データの間違いも直していきます。

この一連の作業を「蔵書点検」と言います。

正しい配列が成されているか、破損している本や内容が古すぎて蔵書とするにはふさわしくないものがないかなど、図書館の蔵書の正しい所在や現況を確かめる大事な作業です。



蔵書点検の様子

蔵書点検を行うことで皆様が探している本を確実に提供するサービスが可能となります。

どうぞ皆さま長々の休館ですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



よろしくお願いします



休館のお知らせはこちら！

図書館ホームページやFacebookページで休館情報や日々の取組を掲載いたしますのでぜひご覧ください！



図書館HP



Facebook

【問合せ先】図書館図書係 ☎ 0126-22-4236

「二十歳の時に見たオーロラは、それはそれは幻想的で素晴らしく、とても美しい風景でした。今でも、あの時の光景が目に焼きつき、感動が甦ってきます。だけど、そのオーロラを超えるものが、私にはあるのですよ」

そう語るのは、岩見沢小学校の『わくわくフェスタ』に長年携わってきたPTA役員の小林倫子さんです。

岩見沢小学校には、子どもたちが喜ぶ二大イベントがあります。それが『ホタテ釣り大会』と『わくわくフェスタ』です。

『ホタテ釣り大会』は平成24年、当時のPTA会長だった大塚浩介さん（現市P連会長）の発案による『ヤマメのつかみ捕り』が発端になります。このイベントは、旧校舎が解体される際、学校プールの最後の使用としてヤマメを放ち、子どもたちに手づかみで捕らせるという前代未聞の企画でした。

学校プールに生きたヤマメを放って、つかみ捕る。そんな試みは誰一人として考えたことがなく、もちろんやったこともなく、当然のことながら教育委員会も渋い顔をしたらしいです。それでも大塚さんは諦めませんでした。「子どもたちの喜ぶ姿が見たい」。ただただその一心で、教育委員会と掛け合い、なんとか実施に漕ぎつけたのです。当日、子どもたちはびしょ濡れになりながらもプールの中を泳ぐヤマメを追いかけ、素手で掴んだり、網で捕ったりして、楽しんだそうです。

この『ヤマメのつかみ捕り』が、形を変えて春の『ホタテ釣り大会』となり、今でも岩見沢小学校で続いています。

そして、二大イベントのもう一つが秋の『わくわくフェスタ』になります。

『わくわくフェスタ』は地域のお祭りとしても定着しており、岩見沢小学校の子どもたちのみならず、お年寄りから小さな子まで楽しみにしているイベントです。

この『わくわくフェスタ』には、縁日コーナーと食べ物コーナーがあります。縁日コーナーでは、ヨーヨー釣り、ストラックアウト、ビンゴ、かたぬき、綿飴づくりが体験できます。食べ物コーナーには、お祭りの定番である焼き鳥のほか、チョコバナナ、トルネードポテト、かき氷、カレーライスがあり、運営はすべてPTAや地域の方々、さらにはPTAのOB・OGの方によって行われています。

とりわけ今年から食べ物コーナーに並んだチョコバナナは、子どもたちに大人気でした。聞くと、ところによると、8年前からチョコバナナを出店しようと思っていたらしいのですが、工程と作業が難しく、断念していたとのこと。それでも子どもたちにお祭り気分を味合わせたいという

思いがPTAの方々に強まり、やはりチョコバナナを作ろうとなりました。固まりやすいチョコを探し回ったり、いろんなバナナで試したり、バナナが折れにくい串の刺し方を研究したりと、試行錯誤を繰り返しながら素敵なチョコバナナを完成させたのです（写真①・②）。

またトルネードポテトも、役員の方々がわざわざ農家の畑まで赴き、使用するジャガイモを選んできました（写真③）。なんとカルビーのポテトチップスに使用されている、でんぷんが多く、揚げに最適なジャガイモを今回は手に入れることができたそうです。その仕入れたジャガイモをみんなで手分けしながら皮をむき、裁断機でスライス（写真④）してから串を通して揚げます。見た目より手間のかかる作業ではありますが、トルネードポテトは子どもにも大人にも大好評でした（写真⑤）。



▲写真① ▼写真②



▲写真③



▲写真④



▲写真⑤

この二大イベントに関わっていただいている方は皆、岩見沢小学校の子どもが大好きなのです。同時に、子どもたちも周りの大人に支えられていることにとっても感謝しています。

さて、冒頭に記した小林さんですが、彼女はイベントを通して子どもたちのオーロラのような煌めきと笑顔に触れ、自分も何かに挑戦したいと思うようになったそうです。そして、40歳から一念発起し、看護学校に通い始め、晴れて今年から看護師となりました。

「人は人の中で生き、人の中で学び、人の中で成長していくものである」と言われます。たくさんの子どもの喜びを与え、子どもの笑顔に触れて、大人も感動をもらう岩見沢小学校のイベント。この二大イベントがこれからも子どもたちや地域に愛され続けていくことを願ってやみません。